

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.1

1. 定格・環境条件

1-1. 定格入力電圧	AC100V、50/60Hz、4.0 A (電源内蔵)
1-2. 消費電力	定常時最大 240W (非給電時36.6W)、最小21.5W
1-3. 動作環境	動作温度範囲 0～50℃ 動作湿度範囲 20～80%RH (結露なきこと)
1-4. 保管環境	保管温度範囲 -20～70℃ 保管湿度範囲 10～90%RH (結露なきこと)
1-5. 適合規制	電磁放射 VCCI クラスA
1-6. 耐性	静電気放電 (ESD) : IEC61000-4-2 (10kV) 放射電磁妨害 : IEC61000-4-3 Level2 電氣的ファストランジェントバースト : IEC61000-4-4 Level3 電氣的サージ : IEC61000-4-5 Level4 (AC line) 耐伝導ノイズ性 : IEC61000-4-6 Level2 電源周波数イミュニティ : IEC61000-4-8 Level4 瞬停/電圧変動 : IEC61000-4-11 * 電氣的サージ (配線誘導雷サージ) : 10kV (ツイストペアポート、当社試験方法による)

2. 形状

2-1. 形状及び材料・色彩	大きさ : H44×W330×D330 (mm) (突起部は除く) ケース材料 : SECC 色彩 : 本体 グリーン03、前面 ブラック03、銘板ラベル ブラック04
2-2. 質量 (重量)	3,700g

3. ハードウェア仕様

3-1. インターフェース	ツイストペアポート : RJ45コネクタ12ポート (ポート1～12) (※1) 伝送方式 : IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T 省電力型イーサネット機能 : IEEE802.3az (LPI) 伝送速度 : 10/100/1000Mbps 全/半二重 適合ケーブル : ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリー5e相当以上) 最大伝送距離 : 100m オートネゴシエーション機能 : 通信速度・全半二重を自動認識 設定により10Mbps、100Mbpsおよび 全二重、半二重を固定可能 各ポート最大30Wの給電可能、装置全体で124Wまで給電可能 ツイストペアポート : RJ45 コネクタ2ポート (ポート13～14) (※1) 伝送方式 : IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T IEEE802.3an 10GBASE-T 適合ケーブル : ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリー6相当以上) 最大伝送距離 : 100m (EIA/TIA568カテゴリー6A使用時) オートネゴシエーション機能 : 通信速度を自動認識 (全二重のみ) 設定により100Mbpsのみ固定可能 ※1 省電力モード搭載により、ポート接続を自動検知し、 電力消費を必要量に抑制。 SFP+ 拡張スロット : 2ポート (ポート15～16) 伝送方式 : IEEE802.3z 1000BASE-SX/LX IEEE802.3ae 10GBASE-SR/LR SFF-8472 (DMI: Diagnostic Monitoring Interface) オプション : 1000BASE-SX SFP Module (PN54021K) 1000BASE-LX SFP Module (PN54023K) 10GBASE-SR SFP+ Module (PN59021) 10GBASE-LR SFP+ Module (PN59023)
---------------	---

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.2

3. ハードウェア仕様

3-2. スイッチング	スイッチング方式 :ストアアンドフォワード スイッチング容量 :104Gbps パケット転送能力 :ノンブロッキング 1,488,000pps/ポート(10Gbps) 1,488,000pps/ポート(1000Mbps) 148,800pps/ポート(100Mbps) 14,880pps/ポート(10Mbps) MACアドレステーブル :8Kエントリー/ユニット ポート単位での自動学習の有効/無効が可能、 固定登録が可能 バッファ :1.5Mバイト フロー制御 :半二重 バックプレッシャー 全二重 IEEE802.3x エージング :10~1,000,000秒(デフォルト値は300秒) ジャンボフレーム対応 :9KB 透過可能フレーム :EAP、BPDU
3-3. ターミナル エミュレータ接続	コンソール・ポート :RJ45コネクタ 1ポート 通信方式 :RS-232C (ITU-TS V.24) エミュレーションモード :VT100 通信条件 :9,600bps、8bit、ノンパリティ、 ストップビット 1bit
3-4. LED表示	(1) POWER(電源)LED 緑点灯:電源 ON 消灯:電源 OFF (2) ANY/COL.(コリジョン)LED 橙点灯:半二重で動作時にいずれかのポートで コリジョン(パケット衝突)発生 (3) PoE LIM.(PoEリミット)LED 静音ファンコントロール高速(High)の場合※工場出荷時 消灯:0~169Wの範囲で給電 緑点灯:170~185Wの範囲で給電 橙点滅:ポート単体の給電電力が上限を超える場合、または、 装置全体で給電電力が185Wを超える場合 静音ファンコントロール中速(Middle)の場合 消灯:0~108Wの範囲で給電 緑点灯:109~124Wの範囲で給電 橙点滅:ポート単体の給電電力が上限を超える場合、または、 装置全体で給電電力が124Wを超える場合 静音ファンコントロール低速(Low)の場合 消灯:0~46Wの範囲で給電 緑点灯:47~62Wの範囲で給電 橙点滅:ポート単体の給電電力が上限を超える場合、または、 装置全体で給電電力が62Wを超える場合 (4) TEMP(温度センサ)LED 緑点灯:システム正常稼動 橙点滅:内部温度センサの設定閾値を超えた場合 (5) FAN(ファンセンサ)LED 緑点灯:システム正常稼動 橙点滅:ファン障害 (6) STATUS/ECO(ステータス/ECOモード)LED 緑点灯:ステータスモードで動作 緑点滅:ECOモードで動作(全ポートLED(左)が消灯します。) 橙点灯:起動中 橙点滅:システム障害 (7) LOOP HISTORY(ループヒストリーモード)LED 緑点灯:ループヒストリーモードで動作 緑点滅:ループが発生中、または過去3日以内にループが発生

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.3

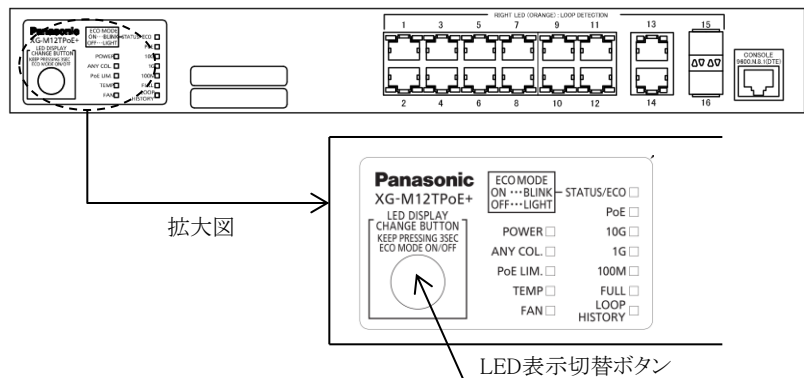
3. ハードウェア仕様

3-4. LED表示

- (8) PoE (給電モード) LED
緑点灯: 給電モードで動作
- (9) 10G LED
緑点灯: 10G モードで動作
- (10) 1G LED
緑点灯: 1G モードで動作
- (11) 100M (スピードモード) LED
緑点灯: スピードモードで動作
- (12) FULL (DUPLEX モード) LED
緑点灯: DUPLEX モードで動作

前面部にあるLED表示切替ボタンを使用して、接続している端末と接続確認の表示 (ステータスモード)、給電 (PoE) の表示 (給電モード)、10Gbpsの伝送速度の表示 (10Gモード)、1000Mbpsの伝送速度の表示 (1Gモード)、100Mbpsの伝送速度の表示 (スピードモード)、全二重または半二重の伝送方式表示 (DUPLEXモード)、ループが発生した履歴があるポートの表示 (ループヒストリーモード)、全てのポートLEDを消灯 (ECOモード) させることができます。

電源起動時のモードをベースモードといいます。
ベースモードはステータスモード (工場出荷時) とECOモードの2種類があります。ベースモードの切替はLED表示切替ボタンを長押し (3秒間以上) することにより変更できます。切替が正常に行われると、STATUS/ECO LED、PoE LED、10G LED、1G LED、100M LED、FULL LEDの計6つのLEDが一斉点灯し、ボタンを離すとベースモードが移行します。
また、給電モード、10Gモード、1Gモード、スピードモード、DUPLEXモード、ループヒストリーモードのいずれかに変更し、LED表示切替ボタンを1分間使用しなかった場合には、自動的にベースモード (ステータスモードあるいはECOモード) へ戻ります。ベースモードは電源OFFになっても保持されます。



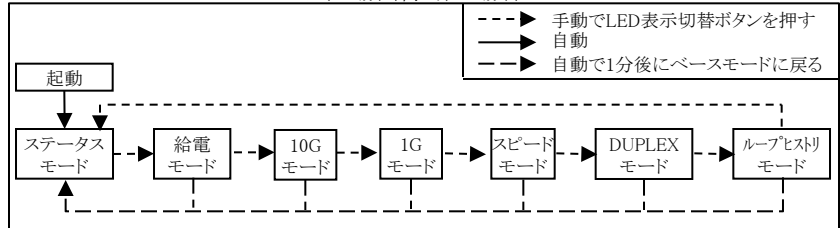
作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

3. ハードウェア仕様

3-4. LED表示

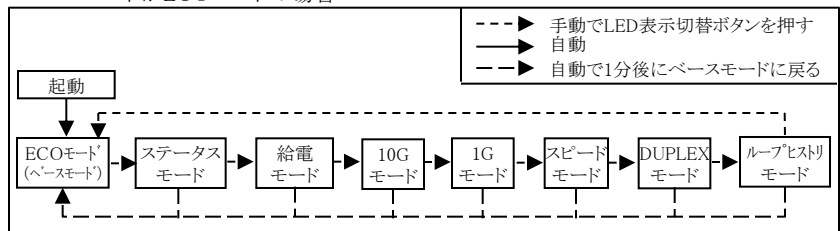
2種類のベースモードと各モードのLEDは以下のように切替ができます。

ベースモードがステータスモード(工場出荷時)の場合



⇕ 切替(3秒長押し)

ベースモードがECOモードの場合

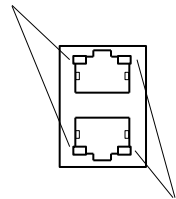


各モードのLEDとポート1~16のLEDは以下のように対応します。

表 1

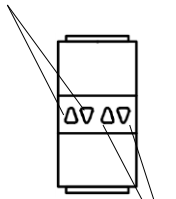
ポートLED	表示モード	LED表示	ポートの状態
左	STATUS/ECO	緑点灯 緑点滅 消灯	リンクが確立 データ送受信中 未接続、またはECOモードに設定
	PoE	緑点灯 橙点滅 消灯	正常に給電 給電のオーバーロード(ポート1~8のみ) もしくはポート単体のオーバーロード 給電していない、もしくはPoE受電機器未接続 ※ポート13~16は常に消灯
	10G	緑点灯 消灯	10Gbpsでリンクが確立 1000Mbps 100Mbps 又は10Mbpsでリンクが確立 もしくは端末未接続 ※ポート1~12は常に消灯
	1G	緑点灯 消灯	1000Mbpsでリンクが確立 10Gbps 100Mbps 又は10Mbpsでリンクが確立 もしくは端末未接続
	100M	緑点灯 消灯	100Mbpsでリンクが確立 10Gbps 1000Mbps 又は10Mbpsリンクが確立 もしくは端末未接続
	FULL	緑点灯 消灯	全二重でリンクが確立 半二重でリンクが確立もしくは端末未接続
右	LOOP HISTORY	緑点灯 消灯	ループ解消後 3日以内 ループ検知履歴なし
	-	橙点灯 消灯	ループ検知、遮断機能により遮断中 ループ検知、遮断機能による遮断なし

ポートLED(左)



ポートLED(右)

ポートLED(左)



ポートLED(右)

3-5. カスケード接続

ポート1~14がAuto MDI/MDI-Xに対応(固定設定可能)
通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。
工場出荷時は、ポート1~12はMDI-Xになります。

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.5

4. ソフトウェア仕様

4-1. 設定	<p>以下の方法によって管理用パラメータの設定が可能</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) コンソールポートに接続された非同期端末からの設定 (2) Telnet接続した遠隔端末からの設定 (3) SSH接続した遠隔端末からの設定 (4) Webによる遠隔端末からの設定(日本語/英語) 																		
4-2. スイッチの管理	<p>ZEQUO assist Plus, PPSによってスイッチの管理・動作状況の確認が可能</p> <p>以下の方法によってスイッチの管理が可能</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) コンソールポートに接続された非同期端末からの管理 (2) Telnet、およびSSHにより接続した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 <p>以下の機能によってスイッチ動作状況の確認が可能</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ファンセンサ機能 (2) 内部温度センサ機能 (3) CPU使用率・メモリの使用量表示機能 <p>SFPモジュールの状態確認機能 (DDM: Digital Diagnostic Monitoring)</p>																		
4-3. 再起動	<p>ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻るリセット (3) IPアドレス以外工場出荷時に戻るリセット <p>各モードでリブートタイマー機能の併用が可能</p>																		
4-4. エージェント	<table border="0"> <tr> <td>管理用プロトコル</td> <td>:SNMP(v1/v2c/v3)</td> <td>(RFC 1157,RFC 1901, RFC 1908,RFC 2570, RFC 2575)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>TELNET</td> <td>(RFC 854)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>HTTP</td> <td>(RFC 2616)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>SSH v2</td> <td>(RFC 4251,RFC4252, RFC4253,RFC4254, RFC4716)</td> </tr> <tr> <td>管理用プロトコル(オリジナル)</td> <td>:PPSP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>データ転送用プロトコル</td> <td>:TFTP</td> <td>(RFC 783)</td> </tr> </table>	管理用プロトコル	:SNMP(v1/v2c/v3)	(RFC 1157,RFC 1901, RFC 1908,RFC 2570, RFC 2575)		TELNET	(RFC 854)		HTTP	(RFC 2616)		SSH v2	(RFC 4251,RFC4252, RFC4253,RFC4254, RFC4716)	管理用プロトコル(オリジナル)	:PPSP		データ転送用プロトコル	:TFTP	(RFC 783)
管理用プロトコル	:SNMP(v1/v2c/v3)	(RFC 1157,RFC 1901, RFC 1908,RFC 2570, RFC 2575)																	
	TELNET	(RFC 854)																	
	HTTP	(RFC 2616)																	
	SSH v2	(RFC 4251,RFC4252, RFC4253,RFC4254, RFC4716)																	
管理用プロトコル(オリジナル)	:PPSP																		
データ転送用プロトコル	:TFTP	(RFC 783)																	

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.6

4. ソフトウェア仕様

4-5. サポートMIB	RFC1213-MIB (MIB II) (RFC 1213) BRIDGE-MIB (RFC 1493) P-BRIDGE-MIB (RFC 2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC 2674) SNMPv2-MIB (RFC 1907) RMON MIB (RFC 2819) グループ1,2,3,9 SNMP-FRAMEWORK-MIB (RFC 2571) SNMP-MPD-MIB (RFC 2572) SNMP-NOTIFICATION-MIB (RFC 2573N) SNMP-TARGET-MIB (RFC 2573T) SNMP-USER-BASED-SM-MIB (RFC 2574) SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB (RFC 2575) SNMP-COMMUNITY-MIB (RFC 2576) IP-FORWARDING-MIB (RFC2096) IpCidrRouteTableのみ IP-MIB (RFC 4293) (※3) IF MIB (RFC 2233) IfTestTable以外 RADIUS Authentication Client MIB (RFC 2618) POWER-ETHERNET-MIB (RFC 3621) deeltxSoppConfigTable, dotlxDot1xSuppStatusTable以外 IEEE802.1X MIB IEEE802.3ad MIB IEEE8021-PAE-MIB RSTP-MIB
4-6. ログ	最大保持数:1,024 認証ログ最大保持数:512 Syslog転送機能(IPv4/v6)
4-7. ループ検知	ループが発生したポートをLEDでお知らせし、そのポートを自動的に遮断します。また、ポート遮断および自動復旧の際、SNMPトラップによる管理者への通知が可能です。ループが発生中、もしくはループ解消後3日以内のポートがある場合にはLOOP HISTORY LEDが点滅し、お知らせします。 <ul style="list-style-type: none"> •ループの発生を検知するポート(ON/OFF) <ul style="list-style-type: none"> ON 1~12番ポート OFF 13~16番ポート(工場出荷時設定) •ループ検知の設定切替(ON/OFF) <ul style="list-style-type: none"> ON(工場出荷時設定) コンソールによる設定、またはLED表示切替ボタンを10秒以上長押しによるOFF/ON切替 電源をOFF/ONにしても設定は保持されます •ループが発生したポートの遮断時間 <ul style="list-style-type: none"> 60~86,400秒(工場出荷設定:60秒) 設定時間ポートLED橙点灯し、ポートを遮断 •ループが発生したポートの履歴保持時間 <ul style="list-style-type: none"> 3日間 LOOP HISTORY LEDが3日間点滅、またループ履歴モードに切り替えると、ループ解消後3日以内のポートLEDが点灯 ループ遮断モードに以下2種類のモードがあります <ul style="list-style-type: none"> •ブロックモード(工場出荷時設定) <ul style="list-style-type: none"> ループ検知時は、自動的にポートのステータスをブロッキングにし、ループ検知パケットを含む特定のパケットのみ送受信を行います。 •シャットダウンモード <ul style="list-style-type: none"> ループ検知時は、自動的にポートをリンクダウンし、すべてのパケットの送受信を行いません。(※) ※設定した復旧時間の30秒前より自動的にループ検知パケットのみ送受信を行います

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.7

4. ソフトウェア仕様

4-8. その他	IPv4, IPv6 Syslog Client (Syslogサーバへのシステムログ送信) TFTP Client (ファームウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) TELNET Client ログインRADIUS (RADIUSサーバによるログイン認証情報管理) DHCP Client SNTP LLDP ZEQUO assist Plus PoEタイマーアプリケーション対応
----------	---

5. レイヤ2スイッチ機能

5-1. スパニングツリー	IEEE802.1s スパニングツリープロトコル、ラピッドスパニングツリープロトコル マルチプルスパニングツリープロトコル BPDUガード機能 (スパニングツリー無効時はBPDU透過)
5-2. ポートグループピング機能	同一グループのみ通信制御が可能(最大256グループの登録が可能)
5-3. VLAN	IEEE802.1Q タグVLAN ポートベースVLAN VLAN登録数 256個(デフォルトも含む) インターネットマンション機能サポート
5-4. リンクアグリゲーション	IEEE802.3ad リンクアグリゲーション機能サポート(LACP/STATIC) 最大8グループ構成可能(1グループ最大8ポート)
5-5. ポートモニタリング	対象となるポートのトラフィックを指定したポートにコピーして送信可能 (複数の対象ポート指定可能。リンクアグリゲーション設定ポートもモニタリング可能。)
5-6. QoS	IEEE802.1p 8段階の優先制御 スケジューリング方式: Priority Queuing (PQ:絶対優先スケジューリング) Weighted Round Robin (WRR:重み付きラウンドロビンスケジューリング) 帯域幅の制御(Egress Rate Limit)が可能
5-7. 認証機能	IEEE802.1Xポートベース認証機能 (EAP-MD5/TLS/PEAP認証方式) IEEE802.1Xを用いたMACベース個別認証機能 IEEE802.1Xを用いたダイナミックVLAN機能 IEEE802.1Xを用いたゲストVLAN機能 登録MACアドレス強制認証機能 EAPフレーム透過機能(ポート単位でEAP透過の有効/無効が可能) MAC認証(ファームウェア Ver.1.0.0.19以降) WEB認証(ファームウェア Ver.1.0.0.19以降) トリプル認証(ファームウェア Ver.1.0.0.19以降) ※1つのポートでIEEE802.1X MACベース/MAC/WEB認証を同時待ち受け可能 ステップ認証(ファームウェア Ver.1.0.0.19以降) ※ユーザ認証と端末認証を段階的に実行可能 MAC-WEB認証 MAC-802.1X認証 802.1X-WEB認証
5-8. PoE給電機能	IEEE802.3at 給電機能 ポート1~12に最大合計185W給電可能(ポートへの最大給電能力30W) 給電方式 : Alternative A(ケーブルの信号線 1,2,3,6利用)

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.8

5. レイヤ2スイッチ機能

5-9. 静音ファンコントロール機能	<p>使用環境に応じて、ファン回転数を設定できます。 ファン回転数を設定すると、最大給電電力が自動制限されます。 ファン回転数(Fan Speed)を低速(Min)に設定すると、装置全体の最大給電電力(Power Budget)が124Wに自動制限されますが、ファン音を最小にすることができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ファン回転数 (Fan Speed)</th> <th>動作温度</th> <th>最大 給電電力</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高速(High)</td> <td>50℃</td> <td>370W</td> <td>工場出荷時</td> </tr> <tr> <td>中速(Middle)</td> <td>50℃</td> <td>250W</td> <td>給電電力が250Wを超える場合は、ファンを高速に設定してご使用ください</td> </tr> <tr> <td>低速(Low)</td> <td>40℃</td> <td>124W</td> <td>給電電力が124Wを超える場合は、ファンを中速に設定してご使用ください</td> </tr> </tbody> </table>	ファン回転数 (Fan Speed)	動作温度	最大 給電電力	備考	高速(High)	50℃	370W	工場出荷時	中速(Middle)	50℃	250W	給電電力が250Wを超える場合は、ファンを高速に設定してご使用ください	低速(Low)	40℃	124W	給電電力が124Wを超える場合は、ファンを中速に設定してご使用ください
ファン回転数 (Fan Speed)	動作温度	最大 給電電力	備考														
高速(High)	50℃	370W	工場出荷時														
中速(Middle)	50℃	250W	給電電力が250Wを超える場合は、ファンを高速に設定してご使用ください														
低速(Low)	40℃	124W	給電電力が124Wを超える場合は、ファンを中速に設定してご使用ください														
5-10. リングプロトコル	リング構成で冗長化が可能(最大8グループの登録が可能)																
5-11. マルチキャスト	IGMP snooping (IGMP v1/v2/v3) 機能 IGMP Querier機能 マルチキャストフィルタリング機能																
5-12. アクセスコントロール	以下のパラメータでアクセス制御が可能 (1) IPv4アドレス、IPv6アドレス(Source または Destination) (2) MACアドレス(Source または Destination) (3) TCP/UDPポート番号(Source または Destination) (4) VLAN ID (5) IEEE802.3p Priority (6) DSCP、DSCP6 (7) Protocol (8) ICMPタイプ (IPv4のみ) (9) TCP SYN Flag																
5-13. 時間設定	SNTP設定 時刻手動設定																
5-14. PoEスケジューラ機能	PoEの給電制御をスケジューリング可能 月、週、日単位または指定した日付にて設定可能 スケジュール登録数32件																
5-15. ストームコントロール機能	Unknown unicast、Broadcast、Multicastのストームを制御可能。																
5-16. その他	FDB ARPテーブル NDPテーブル DDM(Digital Diagnostic Monitoring)。 Reboot (Normal/Default/Default-exceptIP) Statistics IPv4 Ping Execution IPv6 Ping Execution Watch Dog Timer																

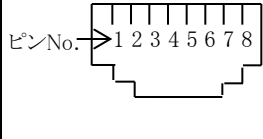
作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	<h1>商品仕様書</h1>	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.9

6. Web管理機能

6-1. ソフトウェア仕様																																	
6-1-1. 対応ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11																																
6-2. 設定機能																																	
6-2-1. スイッチング設定	<table border="0"> <tr> <td>管理情報設定</td> <td>IEEE802.1X認証設定</td> </tr> <tr> <td>IPアドレス設定</td> <td>IGMP Snooping設定</td> </tr> <tr> <td>SNMP設定</td> <td>IGMP Querier設定</td> </tr> <tr> <td>ポート設定</td> <td>PoE設定</td> </tr> <tr> <td>アクセス条件設定</td> <td>ループ検知・遮断設定</td> </tr> <tr> <td>ユーザ名/パスワード設定</td> <td>ポートグループピング設定</td> </tr> <tr> <td>FDB設定および参照</td> <td>リングプロトコル設定</td> </tr> <tr> <td>時刻設定</td> <td>DDM設定</td> </tr> <tr> <td>LLDP設定</td> <td>ポートカウンタ設定および参照</td> </tr> <tr> <td>VLAN設定</td> <td>ファームウェア更新</td> </tr> <tr> <td>リンクアグリゲーション設定</td> <td>設定ファイルの保存/読込設定</td> </tr> <tr> <td>ポートモニタリング設定</td> <td>再起動</td> </tr> <tr> <td>MSTP(マルチプルスパンニングツリー)設定</td> <td>システムログ</td> </tr> <tr> <td>アクセスコントロール設定</td> <td>システムログ送信設定</td> </tr> <tr> <td>QoS設定</td> <td>設定情報の保存</td> </tr> <tr> <td>ストームコントロール設定</td> <td></td> </tr> </table>	管理情報設定	IEEE802.1X認証設定	IPアドレス設定	IGMP Snooping設定	SNMP設定	IGMP Querier設定	ポート設定	PoE設定	アクセス条件設定	ループ検知・遮断設定	ユーザ名/パスワード設定	ポートグループピング設定	FDB設定および参照	リングプロトコル設定	時刻設定	DDM設定	LLDP設定	ポートカウンタ設定および参照	VLAN設定	ファームウェア更新	リンクアグリゲーション設定	設定ファイルの保存/読込設定	ポートモニタリング設定	再起動	MSTP(マルチプルスパンニングツリー)設定	システムログ	アクセスコントロール設定	システムログ送信設定	QoS設定	設定情報の保存	ストームコントロール設定	
管理情報設定	IEEE802.1X認証設定																																
IPアドレス設定	IGMP Snooping設定																																
SNMP設定	IGMP Querier設定																																
ポート設定	PoE設定																																
アクセス条件設定	ループ検知・遮断設定																																
ユーザ名/パスワード設定	ポートグループピング設定																																
FDB設定および参照	リングプロトコル設定																																
時刻設定	DDM設定																																
LLDP設定	ポートカウンタ設定および参照																																
VLAN設定	ファームウェア更新																																
リンクアグリゲーション設定	設定ファイルの保存/読込設定																																
ポートモニタリング設定	再起動																																
MSTP(マルチプルスパンニングツリー)設定	システムログ																																
アクセスコントロール設定	システムログ送信設定																																
QoS設定	設定情報の保存																																
ストームコントロール設定																																	
6-2-2. メールレポート設定	<p>IPv4, IPv6 対応 メールサーバの設定 送信先アカウント(メールアドレス)の設定(最大3アカウント) :それぞれにレポートの通知とトラップの通知を選択可能 送信元アカウント(メールアドレス)の設定 レポート間隔の設定: 毎日、毎週、毎月のいずれか レポートの内容の設定: ポート上オフ、トラフィックサマリ、システムログ 添付ファイルの選択: 添付しない、CSV形式、テキスト形式のいずれか 添付ファイルデータの設定 データ収集間隔: 10分毎、30分毎、1時間、3時間、6時間、1日のいずれか ログの内容: 帯域使用率(%), 受信フレーム数、ブロードキャスト、 マルチキャスト、コリジョン回数、エラー総数</p> <p>ポート選択 設定後、テストメールを送信可能</p>																																
6-2-3. 時間設定	<p>端末からの時刻データの転送による時計合わせ(時刻設定ボタン) SNTP設定 時刻手動設定</p>																																
6-3. モニタ機能																																	
6-3-1. 基本情報	<p>システム情報の設定: 稼働時間(sysUpTime)の表示 詳細情報(sysDescr)の表示 管理者(sysContact)の表示 設置場所(sysLocation)の表示 ホスト名(sysName)の表示</p>																																

7. コネクタ ピン配置

7-1. ポート1~26										
状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8	
MDI-X	信号	BL_DB+	BL_DB-	BL_DA+	BL_DA-	BL_DD+	BL_DD-	BL_DC+	BL_DC-	
MDI	信号	BL_DA+	BL_DA-	BL_DB+	BL_DB-	BL_DC+	BL_DC-	BL_DD+	BL_DD-	

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.10

7. コネクタ ピン配置

7-2. コンソール・ポート				
ピンNo.	信号	ピンNo.	信号	
1	NC	5	GND	
2	NC	6	RXD	
3	TXD	7	NC	
4	GND	8	NC	

8. 設置方法・付属品

8-1. 設置方法	(1) 19インチラックへの取付
8-2. 付属品	(1) 取扱説明書 :1冊 (2) CD-ROM (PDF版取扱説明書、Z EQUO assist Plusを含む) :1枚 (3) ゴム足 :4個 (4) 取付金具 (19インチラックマウント用) :2個 (5) ねじ (19インチラックマウント用) :4本 (6) ねじ (取付金具と本体接続用) :8本 (7) 電源コード (※) :1本 ※ 付属の電源コードはAC100V専用コードです。

9. 別売オプション

9-1. コンソールケーブル (品番:PN72001)	RJ45-Dsub9ピンコンソールケーブル :1本
9-2. 1000BASE-SX SFP Module (品番:PN54021K)	光ファイバ・ポート:LCコネクタ(2芯) 伝送方式 :IEEE802.3z 1000BASE-SX 伝送速度 :1000Mbps 全二重 適合ケーブル :光ファイバケーブル 50/125μm マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離 :50/125μm の場合550m 62.5/125μm の場合220m
9-3. 1000BASE-LX SFP Module (品番:PN54023K)	光ファイバ・ポート :LCコネクタ(2芯) 伝送方式 :IEEE802.3z 1000BASE-LX 伝送速度 :1000Mbps 全二重 適合ケーブル :光ファイバケーブル 10/125μm シングルモードファイバ 50/125μm マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離 :シングルモードファイバの場合10km マルチモードファイバの場合550m
9-4. 10GBASE-SR SFP+ Module (品番:PN59021)	光ファイバ・ポート :LCコネクタ(2芯) 伝送方式 :IEEE802.3ae 10GBASE-SR 伝送速度 :10Gbps 全二重 適合ケーブル :光ファイバケーブル 50/125μm マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離 :50/125μm の場合300m 62.5/125μm の場合33m
9-5. 10GBASE-LR SFP+ Module (品番:PN59023)	光ファイバ・ポート :LCコネクタ(2芯) 伝送方式 :IEEE802.3ae 10GBASE-LR 伝送速度 :10Gbps 全二重 適合ケーブル :光ファイバケーブル 10/125μm シングルモードファイバ 最大伝送距離 :10km
9-6. 壁取付用金具4個 (品番:71053-2SET)	(1) 取付金具(壁取付用) :4個 (2) ねじ(壁取付金具と本体接続用) :16本

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.11

10. 安全確保のための使用上の禁止事項

下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。
本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

- (1) 交流 100V 以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になります。
- (2) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因になります。
- (3) この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因になります。
- (4) 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- (5) むれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・故障の原因になります。
- (6) 開口部やツイストペアポート、コンソールポート、SFP+ 拡張スロットから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
故障の原因になります。
- (7) コンソールポートに別売のコンソールケーブル PN72001 RJ45-DSub9ピンコンソールケーブル以外を接続しない
故障の原因になります。
- (8) 水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- (9) 直射日光の当たる場所や温度の高い場所に設置しない
内部の温度が上がり、火災の原因になります。
- (10) 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しない
落下して、けが・故障の原因になります。
- (11) この装置を火に入れない
爆発・火災の原因になります。
- (12) レーザ光を見ない
視力障害の原因になります。(クラス 1 レーザ製品)
- (13) ツイストペアポートに 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/10GBASE-T以外の機器を接続しない
故障の原因になります。
- (14) SFP+ 拡張スロットに別売の SFP モジュール (PN54021K/PN54023K) または SFP+ モジュール (PN59021/PN59023) 以外を挿入しない
故障の原因になります。
- (15) 付属の電源コード (交流 100V 仕様) を使う
感電・誤動作・故障の原因になります。
- (16) 故障時は電源プラグを抜く
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。
- (17) 必ずアース線を接続する
感電・誤動作・故障の原因になります。
- (18) 電源コードを電源ポートにゆるみなどがなく、確実に接続する
感電や誤動作の原因になります。

作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 5月 28日	

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.12
<p>10. 安全確保のための使用上の禁止事項</p> <p>(19) STATUS(ステータス)LED、もしくはTEMP(温度センサ)LED、FAN(ファンセンサ)LEDが橙点滅となった場合は、故障のため電源プラグを抜く電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。</p> <p>(20) ツイストペアポート、SFP+ 拡張スロット、コンソールポート、電源コード 掛けブロックで手などを切らないよう注意の上取り扱う</p> <p>(21) IEEE802.3at 対応の受電機器をこの装置に接続する場合、Cat5e 以上のケーブルを使用する 上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になります。</p> <p>(22) 10GBASE-T (IEEE 802.3an) 対応機器をこの装置に接続する場合、Cat6 以上のケーブルを使用する 上記以外のケーブルを使用すると、故障の原因になります。</p> <p>(23) 光ファイバー・ケーブルのコネクタ部が埃などで汚れていないか確認する 正常に光信号が伝送されず、誤動作・故障の原因になります。 汚れている場合は、必ず清掃してから、光ファイバー・ポートに接続してください。</p> <p>11. 使用上の注意事項</p> <p>(1) 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。</p> <p>(2) 商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。</p> <p>(3) この装置を設置・移動する際は、電源コードを外してください。</p> <p>(4) この装置を清掃する際は、電源コードを外してください。</p> <p>(5) 仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。</p> <p>(6) RJ45コネクタ(ツイストペアポート、コンソールポート)の金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。 静電気により故障の原因になります。</p> <p>(7) コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。 静電気により故障の原因となります。</p> <p>(8) 落下など強い衝撃を与えないでください。 故障の原因になります。</p> <p>(9) コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。</p> <p>(10) 以下場所での保管・使用はしないでください。 (仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)</p> <ul style="list-style-type: none"> － 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所 － ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所(カーペットの上など) － 直射日光が当たる場所 － 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所 － 振動・衝撃が強い場所 <p>(11) ファンの設定が高速または、中速の場合は、周囲の温度が 0 ～ 50℃の場所でお使いください。 ファンを低速に設定した場合、周囲の温度が 0 ～ 40℃の場所でお使いいただけます。 上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保証致しかねますのでご注意ください。 また、この装置の通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと内部に熱がこもり、故障・誤動作の原因になります。動作環境温度外でご使用の場合、保護装置が働き PoE 給電を停止します。</p> <p>(12) この装置を上下に重ねて置かないでください。 また、左右に並べておく場合はすき間を20mm以上設けてください。</p> <p>(13) ラックマウントする場合は、上下の機器との間隔を20mm以上離してお使いください。</p>			
作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部	
改定日	2019年 5月 28日		

品名	XG-M12TPoE+	商品仕様書	401-83129-SP05
品番	PN83129		全13 No.13
<p>11. 使用上の注意事項</p> <p>(14) SFP+ 拡張ポートに別売の SFP モジュール (PN54021K/PN54023K) および、SFP+ モジュール (PN59021/PN59023) 以外を挿入した場合、動作保証はいたしませんのでご注意ください。</p> <p>(15) 適切なケーブルの選定・敷設を行ってください。 敷設方法・環境ノイズが通信へ影響を与える場合があります。</p> <p>12. 品質保証について</p> <p>本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、</p> <p>(1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。</p> <p>(2) 本商品の品質保証期間はご購入日より1年間とし、本仕様書に記載された項目とその範囲内とさせていただきます。 本商品に弊社の責による瑕疵が明らかになった場合には、誠意をもって代替品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を本商品の納入場所で速やかに行わせていただきます。</p> <p>但し、次の場合はこの保証の対象から除かせていただきます。</p> <p>1) 本商品の故障や瑕疵から誘発された他の損害の場合。 2) お買い上げ後の取扱い、保管、運搬 (輸送) において、本仕様書記載以外の条件が本商品に加わった場合。 3) お買い上げ時までに実用化されている技術では予見することが不可能であった現象に起因する場合。 4) 火災・地震・洪水・落雷・紛争など弊社に責のない自然あるいは人為的な災害による場合。</p> <hr/> <p>取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。</p> <p>お客様の取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本商品の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、その責任は負いかねますのでご了承ください。</p> <p>(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害 (硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) などによる故障および損傷 (ニ) 保証書の提示がない場合 (ホ) 保証書にお買い上げ日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合</p>			
作成日	2016年 3月 24日	ネットワークソリューション事業本部	
改定日	2019年 5月 28日		